

令和 6 年度 市長記者会見 発言要旨

令和 6 年 5 月 27 日(月)開催分

< 開催時間 > 14:00~14:40

< 会 場 > 庁議室(市役所本館3階)

< 会見案件 > 6月補正予算案の概要

令和5年度部局マネジメント方針成果報告書、市長ビジョンロードマップ、総合計画レポート2023
市長と職員のコミュニケーション推進

< 出 席 者 > 市長、副市長、総務部長、財政部長、市長公室長、財政課長、総合政策課長、新クリーンセンター建設事務所長、こども政策課長、こども育成課長、商工振興課長、しごと支援課長、国際室長、スポーツ課長、農政企画課長、教育総務課長

< 質疑応答 >

【記者】

今回の補正額は31億4000万円増で、昨年度比142%という大幅な増額で、予算総額としては昨年度とほぼ同水準となっています。市長の思いが今回の補正予算のどこに反映されているか教えてください。

【市長】

当初予算案では反映できなかった部分も含め、私のビジョンを反映した予算です。令和7年度に本格的に実施するための準備の予算も含まれています。

【記者】

今回の補正予算で、市長が特に力を入れたい事業はありますか。

【市長】

私のビジョンに基づくものですので、今回補正予算で掲げた事業についてはどれもしっかり取り組みたいと考えています。

【記者】

インバウンドに関する事業について、具体的な目標はありますか。

【市長】

具体的な数値の目標は持っていませんが、福井市のインバウンド観光には伸びしろがあると考えており、注目を浴びることがインバウンド誘客につながると考えています。外国人の目線でプロモーション動画を作成したり、小松空港で訪日外国人に福井のリーフレットを渡したり、大阪・関西万博に訪れた外国人に狙いを定めた旅行プランを組んだりし、できる限りインバウンドを増やしていきたいと考えています。

【記者】

台湾をターゲットにした理由を詳しく教えてください。

【市長】

以前、金福すいかを販売するために台湾に行ったことがあります。今回は LDHJAPAN の協力を得て、台湾をターゲットとしています。LDHTAIWAN のメンバーには福井を訪れた方もおり、台湾との繋がりもあります。また、台湾とは直行便もありますし、親日的な雰囲気や日本への理解があるところから台湾が良いと考えました。

【記者】

台湾を足がかりにアジアへ展開する考えはありますか。

【市長】

この取り組みは欧米人にもアピールするものです。新幹線が通り、成田からもアクセスが容易なので、アジアだけでなく欧米からの観光客も対象にしています。

【記者】

ダンスイベントについて、具体的な規模や会場、内容を教えてください。

【市長】

JETSやLDHなど、チアダンスやダンスは多くの人々に愛されています。また、中学校の部活動でもダンスが人気であることから、それを活かしたイベントにしたいと考えています。具体的な内容や会場について検討し、来年秋に全国に発信する大規模なイベントを開催したいです。

【記者】

第8次福井市総合計画レポートの学校教育の KPI が達成されていないことについて、どのように受け止められてい

ますか。

【市長公室長】

学校教育の KPI は前年度より上昇していますが、目標には達成できませんでした。子供の夢や希望を育てることは教育だけでなく、子育て全般に関わる課題です。次年度もこの課題に取り組んでいく予定です。

【記者】

ロードマップの計画を実現するための市長の意気込みをお聞かせください。

【市長】

スピード感を持って計画を実現したいと考えています。スピードは重要であり、物事を実行する上での価値があると考えています。

【記者】

ロードマップとマネジメント方針の関係について、部局ごとの評価からロードマップに焦点を絞る理由は何ですか。

【市長】

市の施策は色んな部局にまたがって進めていくものもあり、部局はそれぞれしっかり役割を果たしてもらいつつ、組織全体としてビジョンがどこまで達成しているのかを見ていくものです。

【記者】

市長個人が軸になって評価の指標を見ていくのですか。

【市長】

福井市全体の評価と考えるべきです。私は任期満了まで市長を務めることが保証されており、その間に計画を実現することが目標です。